

平成28年度再評価対象事業調書

(社会経済情勢の急激な変化等により見直しの必要が生じた事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
5	道路整備交付金事業(社会資本整備総合交付金) 主要地方道 武雄福富線 事業主体：県 事業地： 杵島郡白石町 福富	本路線が存在する地区は杵島郡白石町の旧福富町に位置し、白石町役場福富支所及び福富中学校を始めとした公共施設や保育園等が集まっており、歩行者・自転車交通量が多い。 また、当該区間は有明海沿岸道路(佐賀福富道路)の末端ICとなる福富ICへのアクセス道路であり、大幅な交通量の増加が見込まれる。 現況は、車道幅員が狭小で歩道も片側しかなく、朝夕の通勤時間帯は歩行者、自転車と車両が輻輳する状況となっており、早急な対応が求められている。このため、現道拡幅及び自転車歩行者道を整備し、車両交通の円滑化及び歩行者・自転車の安全性の向上を図るものである。	全体事業費：17.8億円 工期：H26～H32 事業内容 延長 L=1,200m 幅員 W=6.5(14.5)m 道路改良工 L=1,200m 地盤改良工 L=1,200m 函渠工 N=5基 舗装工 L=1,200m 測定 1式 用地補償 1式	○H27末進捗率：約12% (事業費ベース) (年平均進捗率6%) ○用地補償進捗率：10%	現況交通量：2,254台/日 計画交通量：14,500台/日 平成28年度に有明海沿岸道路などの地域高規格道路の整備と併せて行われる、ICへのアクセス道路の整備に対し、集中的な支援を行うため、新たな個別補助制度が創設された。 福富IC付近において平成28年10月7日に県内9番目の道の駅として『道の駅しろいし』が登録された。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C=4.76	(コスト削減) 効率的な軟弱地盤対策工法を選定する。 工事で発生する残土を盛土等に流用する。 (代替案の検討) 特になし	社会情勢の急激な変化のため再評価 事業進捗を図るための確実な予算確保を目指し、交付金から新たに創設された個別補助に移行するため。	継続 (理由) 当該箇所の事業の必要性に変化がなく、交通の円滑化と交通安全を図るため、事業を継続したい。	

